

2026年1月22日

四国地域の経済動向（概要）
（2025年11月分）

～四国地域の経済は、持ち直しの動きがやや鈍化している～（→）
（持ち直しの動きがやや鈍化している）

生産（→）	鉱工業生産は、弱含みで推移している。《弱含みで推移》 鉱工業生産指数は、前月比が3カ月ぶりに低下した。
個人消費（→）	個人消費は、持ち直している。《持ち直している》 百貨店・スーパー販売額（全店）は、13カ月連続で前年を上回った。 コンビニエンスストア販売額は、9カ月連続で前年を上回った。 家電大型専門店販売額は、2カ月連続で前年を上回った。 ドラッグストア販売額は、53カ月連続で前年を上回った。 ホームセンター販売額は、5カ月連続で前年を下回った。 乗用車新車新規登録・届出台数は、5カ月連続で前年を下回った。
住宅着工	新設住宅着工戸数は、8カ月連続で前年を下回った。
公共工事	公共工事は、請負金額が3カ月連続で前年を下回り、年度累計は19カ月連続で前年度を上回った。
設備投資	2025年度の設備投資計画額は、2年連続で前年度を上回る見込み。
雇用	雇用は、有効求人倍率が2カ月連続で前月を下回り、一般新規求人数は2カ月連続で前年を下回った。
倒産	倒産件数は、前年と同数となり、負債総額は3カ月ぶりに前年を下回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。《 》内は前月の基調判断を記載している。

【四 国 の 経 済 指 標】 2025年11月

	四 国			全 国		
	前月比(%)		前年同月比(%)	前月比(%)		前年同月比(%)
鉱工業生産指数	92.5	▲ 4.1	▲ 8.0	102.0	▲ 2.6	▲ 2.1
（2020年=100、季節調整済 前年同月比は原指数）						
鉱工業出荷指数（〃）	91.7	▲ 1.1	▲ 6.8	100.7	▲ 1.6	▲ 1.7
鉱工業在庫指数（〃）	102.2	▲ 3.1	0.5	97.3	▲ 3.0	▲ 4.1
百貨店・スーパー販売額（単位：億円）（全 店）	492		5.6	19,905		4.9
			2.8			3.2
コンビニエンスストア販売額（単位：億円）	255		2.2	10,941		3.9
家電大型専門店販売額（単位：億円）	77		3.9	4,122		7.6
ドラッグストア販売額（単位：億円）	258		9.8	7,960		8.0
ホームセンター販売額（単位：億円）	79		▲ 1.9	2,862		1.0
乗用車新車新規登録・届出台数（単位：台）	9,702		▲ 8.9	306,840		▲ 7.0
新設住宅着工戸数（単位：戸）	1,060		▲ 15.2	59,524		▲ 8.5
公共工事請負金額（単位：億円）	301		▲ 13.3	7,452		▲ 6.8
有効求人倍率（季節調整済）	1.27	（前月差	▲ 0.01）	1.18	（前月差	0.00）
企業倒産件数（単位：件）	20		0.00	778		▲ 7.49

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。有効求人倍率(季節調整済)は、前月差(ポイント差)を示す。

（本発表資料のお問い合わせ先）
四国経済産業局 総務企画部参事官（調査担当） 藤井
担当者：三野
電 話：087-811-8509（直通）
URL：<https://www.shikoku.meti.go.jp/>

四国地域の経済動向

(2025年11月分)

1. 鉱工業生産 ～弱含み～

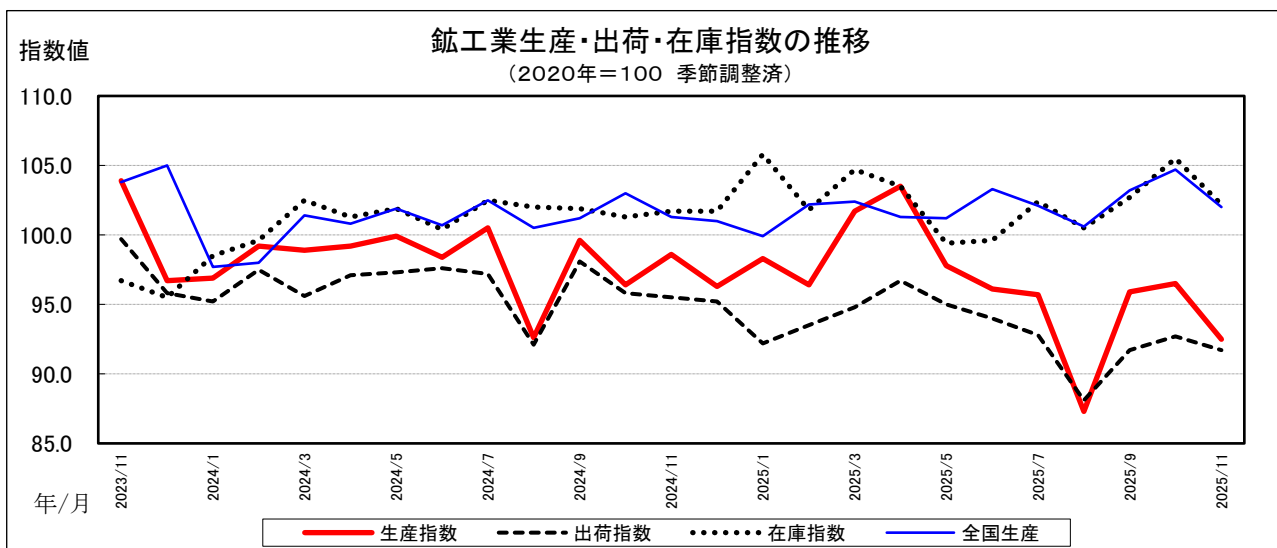
当月の鉱工業指数をみると、前月比では、生産は3カ月ぶりの低下、出荷は3カ月ぶりの低下、在庫は3カ月ぶりの低下、在庫率は2カ月連続の低下となった。なお、前年同月比では、生産は2カ月ぶりの低下、出荷は11カ月連続の低下、在庫は3カ月連続の上昇、在庫率は13カ月連続の上昇となった。

生産は、前月比4.1%減(前年同月比8.0%減)となり、生産指数(季節調整済)は92.5となった。業種別にみると、繊維工業、電気機械工業などが上昇し、汎用・生産用機械工業、化学・石油石炭製品工業などが低下した。出荷は、前月比1.1%減(前年同月比6.8%減)となった。業種別にみると、非鉄金属工業、化学・石油石炭製品工業などが上昇し、汎用・生産用機械工業、輸送機械工業などが低下した。在庫は、前月比3.1%減(前年同月比0.5%増)となった。業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品工業、繊維工業などが上昇し、汎用・生産用機械工業、非鉄金属工業などが低下した。在庫率は、前月比0.9%減(前年同月比12.7%増)となった。

【鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) 2020年=100】

(増減率:%)

前月(年)比	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
生産指数	▲ 0.7	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 8.8	9.9	0.6	▲ 4.1
出荷指数	▲ 0.5	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 5.1	4.1	1.1	▲ 1.1
在庫指数	4.4	0.2	2.8	▲ 1.9	2.2	2.7	▲ 3.1



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「鉱工業指数」、四国経済産業局「四国地域の鉱工業生産・出荷・在庫指数」)

2. 個人消費 ～持ち直している～

(1) 小売販売

当月の百貨店・スーパー259店(百貨店4店とスーパー255店)の販売額合計は491.7億円で、前年同月比5.6%増と13カ月連続で前年を上回った。

業態別にみると、百貨店4店の販売額は65.9億円で、前年同月比4.8%増と2カ月連続で前年を上回った。前年に比べ土・日曜日が2日多かったことに加え、品目別にみると、その他の商品は高級時計や宝飾品などの高額品が好調だったことなどから2カ月連続で、飲食料品は歳暮の受注が早期化したことなどから3カ月ぶりに前年を上回った。一方、身の回り品はインポートバッグや財布の動きが鈍かったことなどから、3カ月連続で前年を下回った。

スーパー255店の販売額は425.9億円で、前年同月比5.7%増と13カ月連続で前年を上回った。品目別にみると、飲食料品は米の高値が続いているほか、冷凍食品や総菜、鶏卵の動きが良かったことなどから、13カ月連続で前年を上回った。その他の商品は玩具や化粧品、紙製品などの日用消耗品が好調だったことなどから、9カ月連続で前年を上回った。一方、衣料品は冬物衣料や肌着が苦戦したことなどから、3カ月連続で前年を下回った。

コンビニエンスストア1,567店の商品販売額及びサービス売上高は254.6億円で、前年同月比2.2%増と9カ月連続で前年を上回った。

家電大型専門店83店の販売額は76.6億円で、前年同月比3.9%増と2カ月連続で前年を上回った。

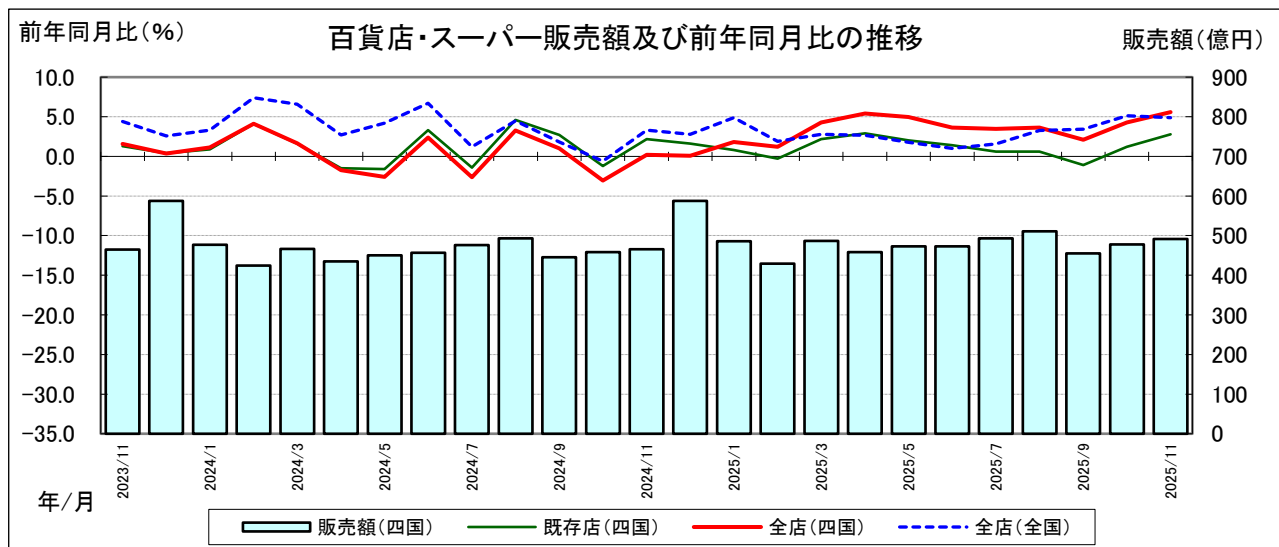
ドラッグストア678店の販売額は258.2億円で、前年同月比9.8%増と53カ月連続で前年を上回った。

ホームセンター203店の販売額は78.5億円で、前年同月比1.9%減と5カ月連続で前年を下回った。

【百貨店・スーパー販売額】

(増減率: %)

前年同月(年)比	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
全 店	0.3	3.6	3.5	3.6	2.1	4.3	5.6
既存店	1.2	1.4	0.6	0.6	▲ 1.1	1.2	2.8



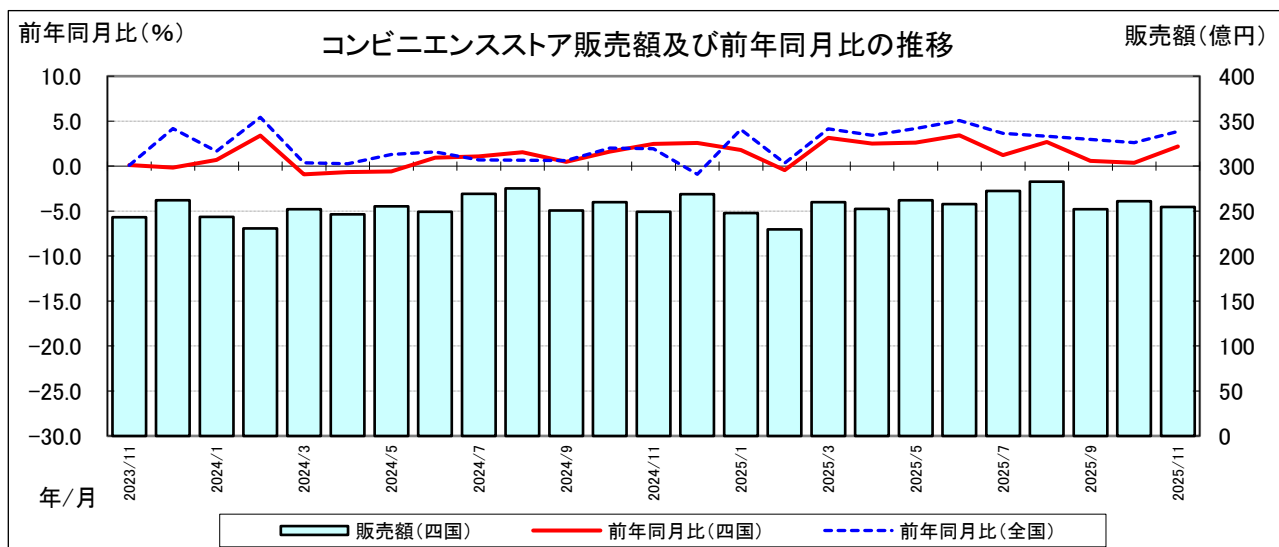
※最新月は速報値

(出所: 経済産業省「商業動態統計調査」、四国経済産業局「四国地域の百貨店・スーパー販売状況」)

【コンビニエンスストア販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	1.0	3.4	1.2	2.7	0.6	0.4	2.2



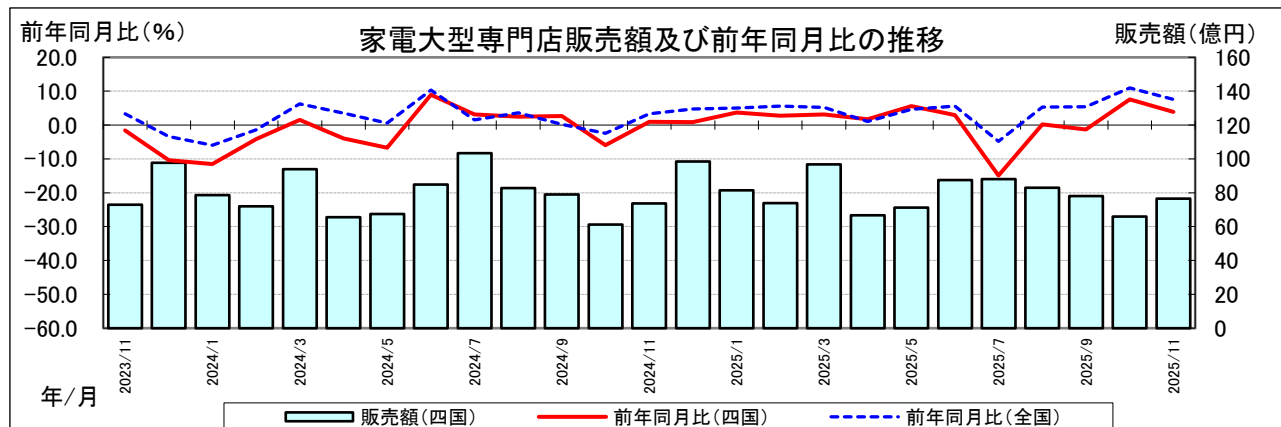
※最新月は速報値

(出所: 経済産業省「商業動態統計調査」)

【家電大型専門店販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	▲ 0.8	3.0	▲ 14.9	0.2	▲ 1.3	7.6	3.9



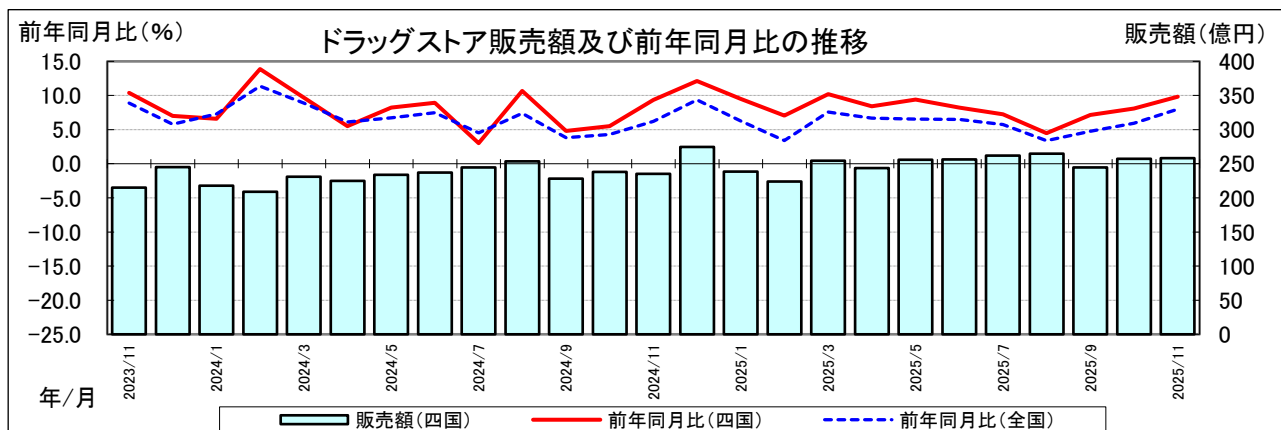
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ドラッグストア販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	8.1	8.2	7.2	4.5	7.2	8.1	9.8



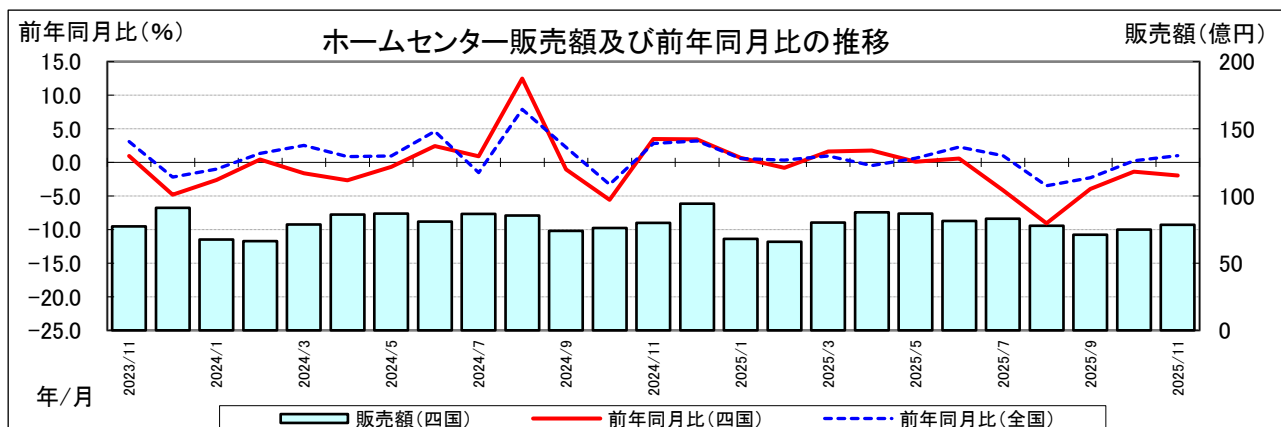
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ホームセンター販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	0.7	0.6	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.0	▲ 1.4	▲ 1.9



※最新月は速報値

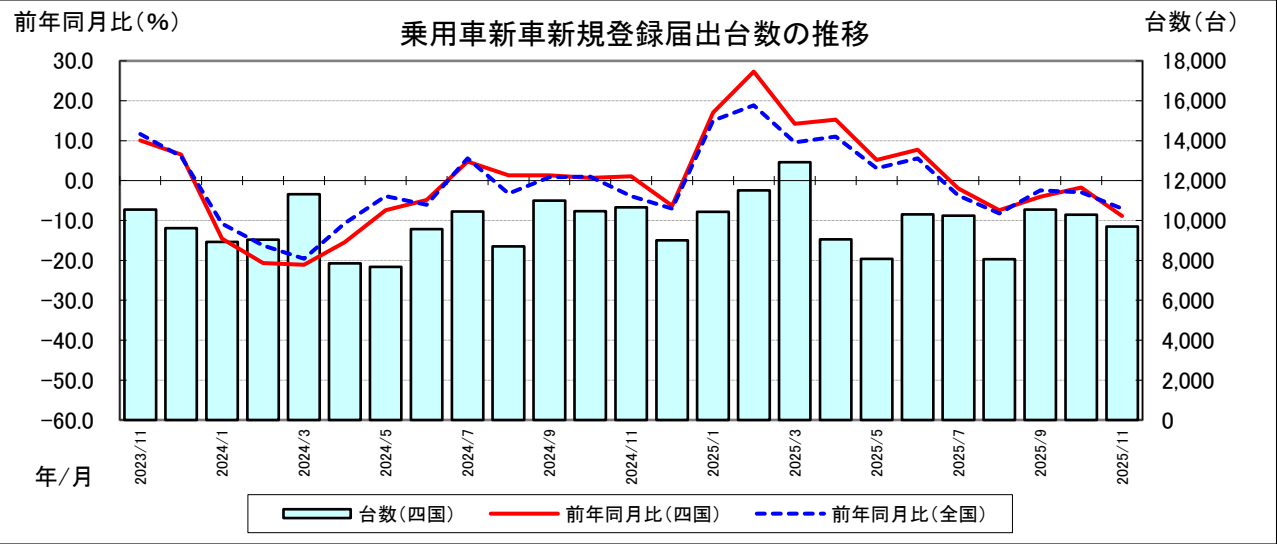
(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

(2)乗用車新車新規登録・届出台数

当月の乗用車新車新規登録・届出台数は9,702台で、前年同月比8.9%減となり、5カ月連続で前年を下回った。車種別でみると、普通乗用車が前年同月比19.8%減、小型乗用車が同12.2%増、軽乗用車が同7.3%減となった。

【乗用車新車新規登録・届出台数】 (増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	▲ 7.4	7.7	▲ 2.0	▲ 7.4	▲ 4.1	▲ 1.7	▲ 8.9



(出所: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

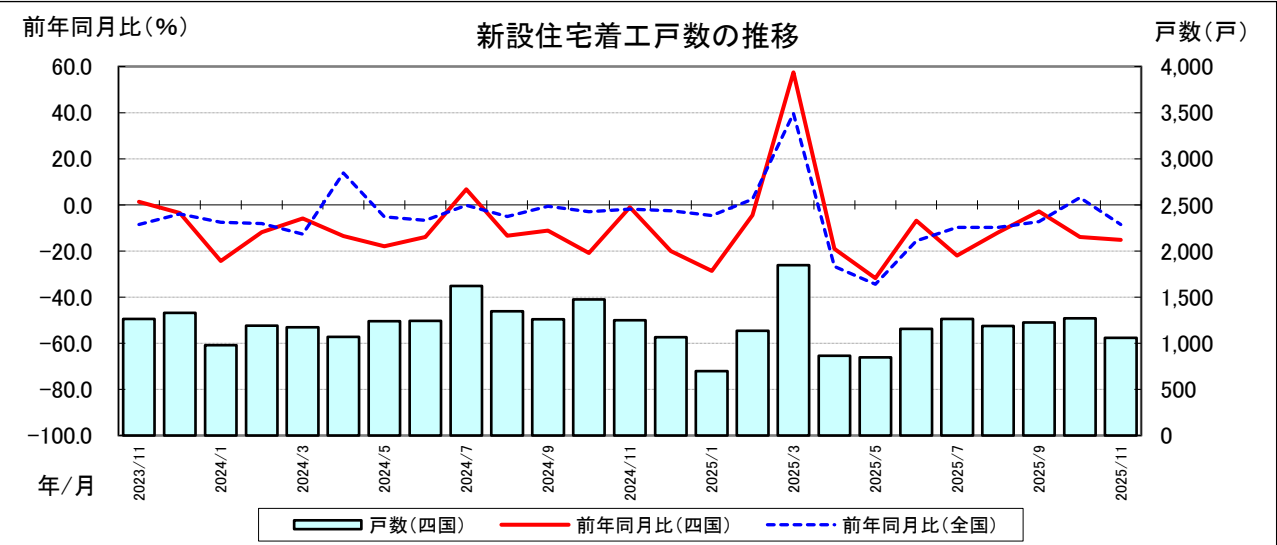
3. 住宅着工

当月の新設住宅着工戸数は1,060戸で、前年同月比15.2%減となり、8カ月連続で前年を下回った。

区分別でみると、持家が前年同月比17.4%減、貸家が同27.9%減、分譲住宅が同1.7%減となった。

【新設住宅着工戸数】 (増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	▲ 12.4	▲ 6.8	▲ 22.0	▲ 11.9	▲ 2.8	▲ 14.0	▲ 15.2



(出所: 国土交通省「建築着工統計調査」)

4. 公共工事

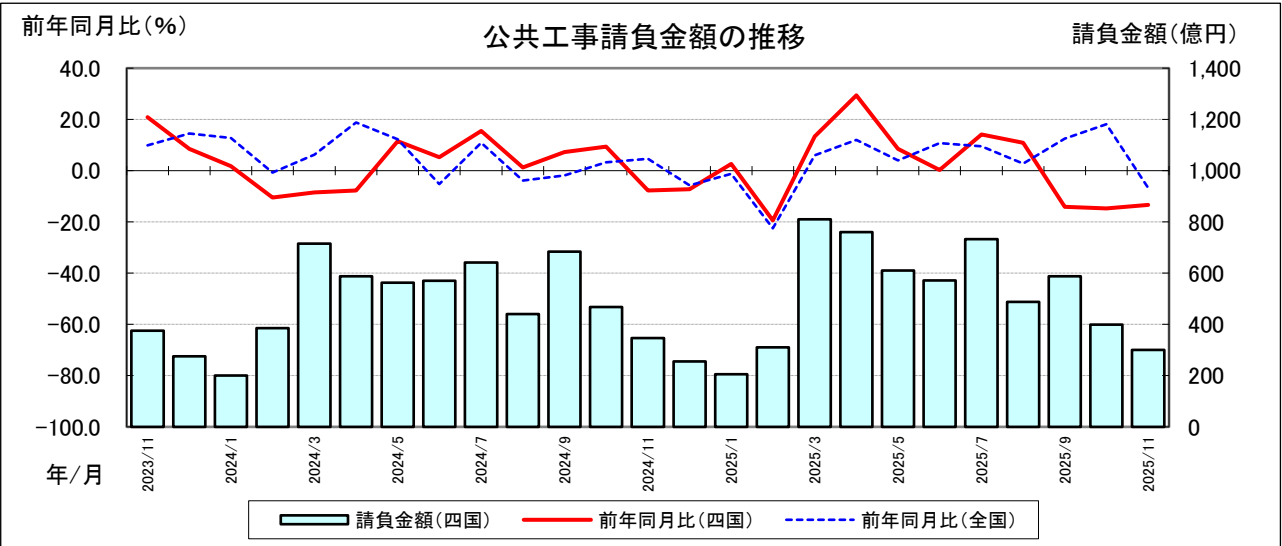
当月の公共工事の発注状況を請負金額でみると301億円で、前年同月比13.3%減と3カ月連続で前年を下回った。前年度同月累計比では3.5%増と19カ月連続で前年度を上回った。

発注者別では、国が前年同月比22.8%減、県が同16.3%減、市町村が同8.4%減、独立行政法人等が同41.7%増となった。

【公共工事請負金額】

(増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年度)比	3.4	0.2	14.1	10.9	▲ 14.1	▲ 14.7	▲ 13.3
前年度同月累計比	-	12.9	13.2	12.9	7.6	4.9	3.5



(出所: 北海道建設業信用保証㈱・東日本建設業保証㈱・西日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」)

5. 設備投資

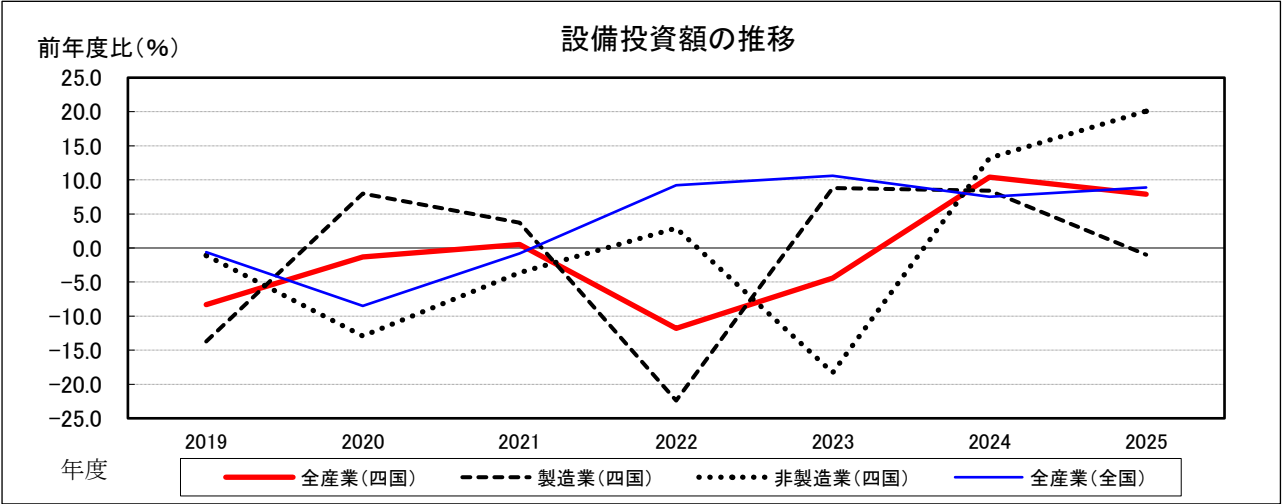
2025年度の設備投資計画は、前年度比7.9%増となっている。

業種別では、製造業が前年度比1.0%減、非製造業が同20.1%増となっている。

【設備投資額(含む土地投資額)】

(前年度比: %)

	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度実績	2025 年度計画
全産業	▲ 8.3	▲ 1.3	0.5	▲ 11.8	▲ 4.4	10.4	7.9
製造業	▲ 13.7	8.0	3.7	▲ 22.4	8.8	8.4	▲ 1.0
非製造業	▲ 1.1	▲ 12.9	▲ 3.6	2.9	▲ 18.3	13.2	20.1



(出所: 日本銀行「企業短期経済観測調査」)

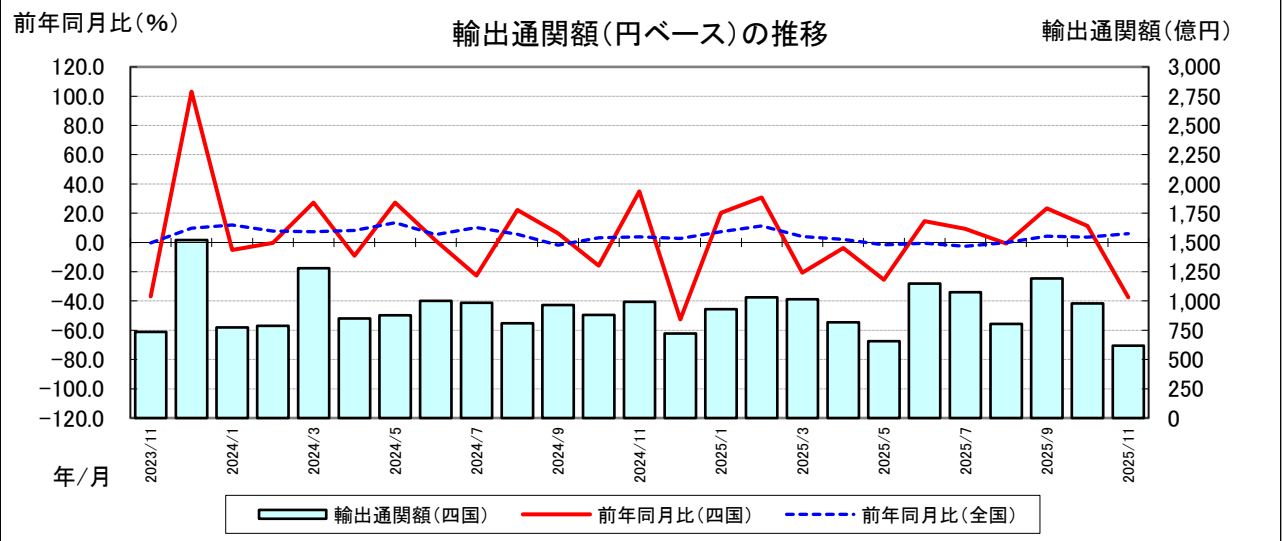
6. 貿 易

(1) 輸出

当月の輸出通関額(円ベース)は619億円で、繊維機械、農業用機械などが増加したものの、船舶、石油製品などが減少したため、前年同月比37.6%減と、3カ月ぶりに前年を下回った。

【輸出通関額】 (増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	▲ 3.9	14.6	9.3	▲ 0.7	23.4	11.4	▲ 37.6



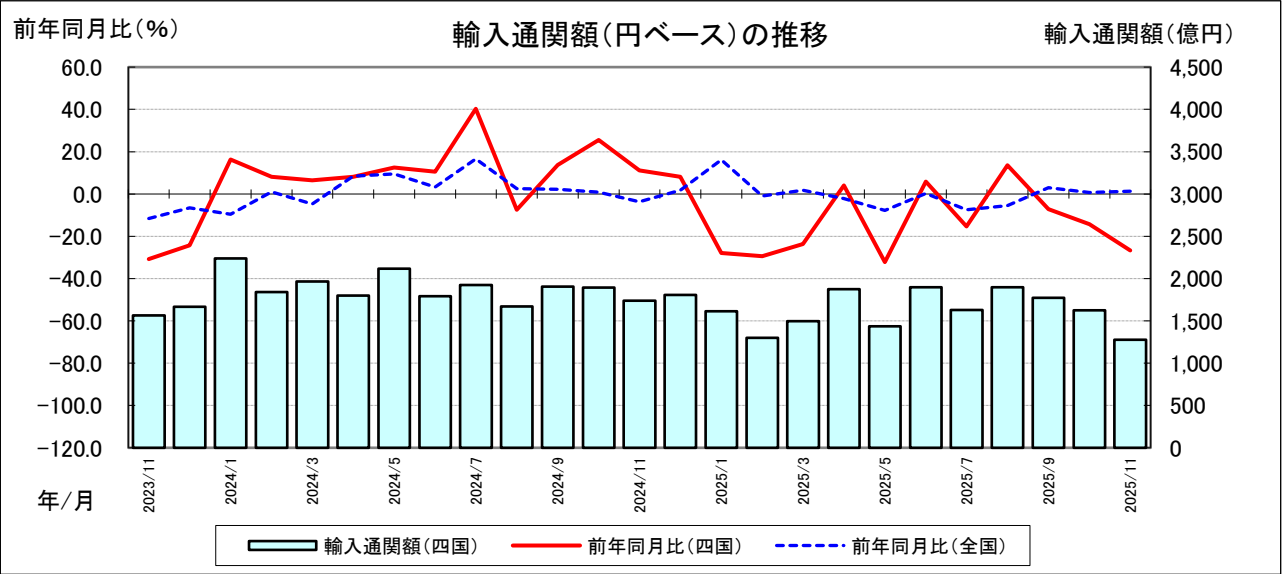
(出所:神戸税関「貿易統計」)

(2) 輸入

当月の輸入通関額(円ベース)は1,276億円で、石油製品、有機化合物などが増加したものの、金属鉱及びくず、天然ガス及び製造ガスなどが減少したため、前年同月比26.7%減と、3カ月連続で前年を下回った。

【輸入通関額】 (増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前年同月(年)比	12.1	5.9	▲ 15.3	13.6	▲ 7.1	▲ 14.2	▲ 26.7



※最新月は速報値

(出所:神戸税関「貿易統計」)

7. 雇 用

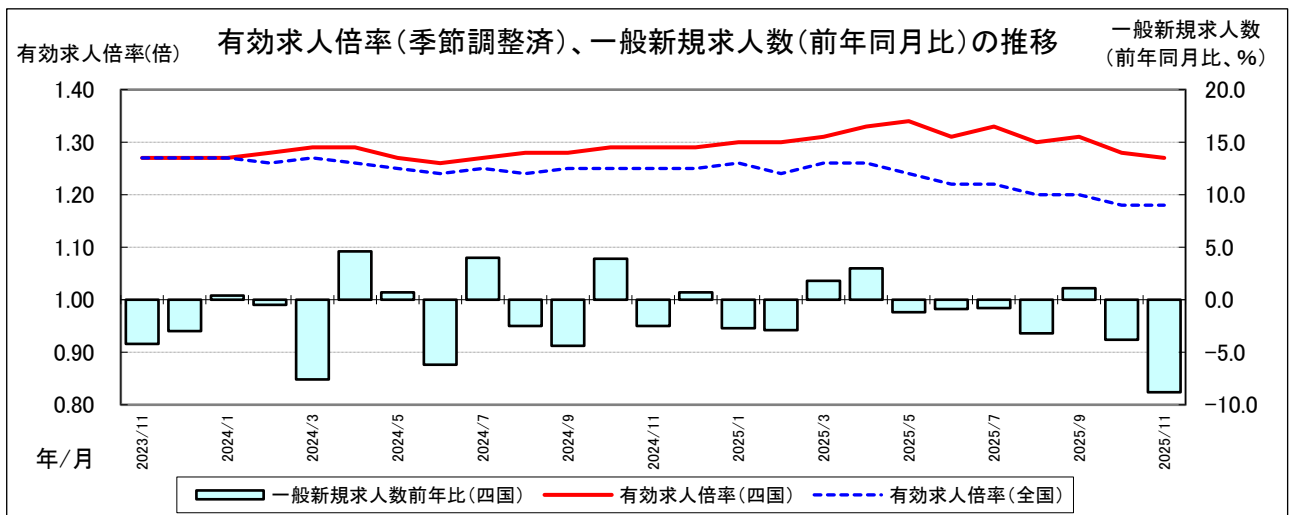
当月の雇用情勢をみると、有効求人倍率(季節調整済)は1.27倍で、2カ月連続で前月を下回った。

産業別の一般新規求人数(新規学卒、パートタイムを除く)をみると、「公務、その他」、「学術研究、専門・技術サービス業」などが前年を上回ったものの、「製造業」、「医療、福祉」などが前年を下回り、全体では前年同月比8.8%減と、2カ月連続で前年を下回った。

【雇用】

(倍、増減率:%)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
有効求人倍率(季節調整済)	1.28	1.31	1.33	1.30	1.31	1.28	1.27
一般新規求人数(前年同月(年)比)	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 3.2	1.1	▲ 3.8	▲ 8.8



(出所:厚生労働省「職業安定業務統計」、四国4県の労働局データを加工)

8. 企業倒産

当月の企業倒産状況をみると、倒産件数は20件で前年と同数となった。

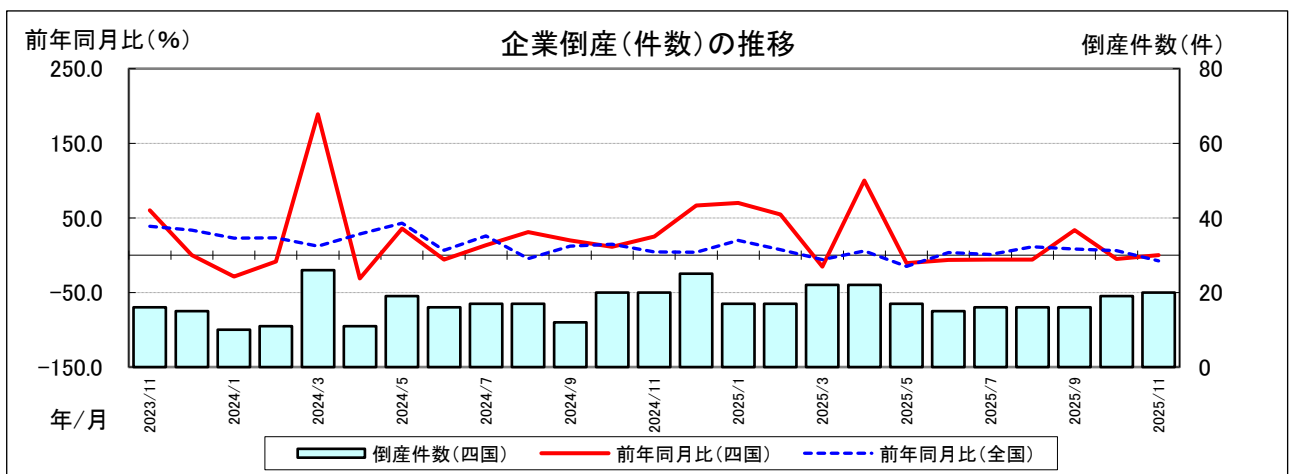
また、負債総額は12.29億円で、前年同月比64.65%減と、3カ月ぶりに前年を下回った。

11月の過去10年間をみると、倒産件数は2番目、負債総額は7番目となっている。原因別では、販売不振が14件、既往のシワ寄せが4件、過小資本、他社倒産の余波が各1件となっている。また、産業別では、小売業、サービス業他が各5件、製造業が4件、建設業が3件、卸売業が2件、農・林・漁・鉱業が1件となっている。

【企業倒産】

(件、負債総額:百万円)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
件 数	204	15	16	16	16	19	20
負債総額	24,007	1,460	1,834	1,351	1,695	4,263	1,229



(出所:㈱東京商工リサーチ)

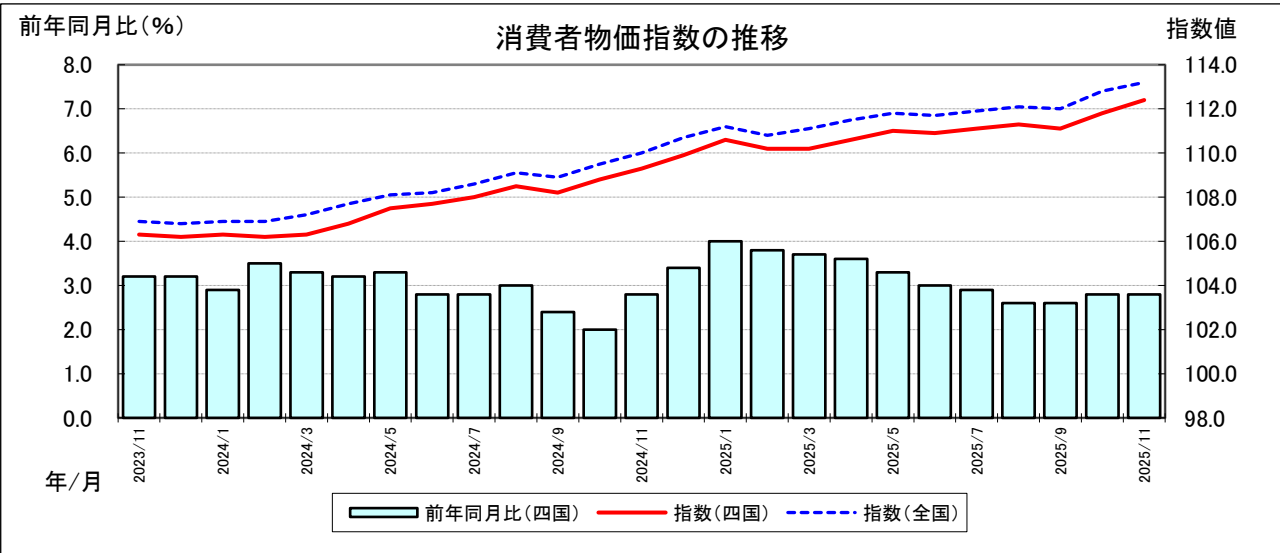
9. 消費者物価

当月の消費者物価指数は112.4で、教養娯楽、家具・家事用品などが低下したものの、光熱・水道、食料などが上昇したことから前月比0.5%増となった。また、前年同月比は、食料、交通・通信などが上昇したことから2.8%増となった。

【消費者物価指数 2020年=100】

(増減率: %)

	2024	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10	2025/11
前月(年)比	3.0	▲ 0.1	0.2	0.2	▲ 0.2	0.7	0.5



(出所：総務省「消費者物価指数」)